



さかわようちえんだより~10月号~

さ:最後までがんばる子 か:感じる心をもった子
わ:わくわくしながらチャレンジする子

令和2年9月30日
小田原市立酒匂幼稚園
園長 向笠 弘子

園庭に秋風によってやってきたトンボと戯れる子どもたちの姿が見られるようになりました。先日は、ウイズコロナの中での、『幼稚園へ行こう週間』『引き渡し避難訓練』にご協力いただきありがとうございました。1学期から虫取りがお気に入りの年少さんは、園庭にいる虫が変わってきたことで季節の変化を感じているようです。また、年長さんは、大切に育てている『そだてやさん』のミニトマトやナスが枯れてきたことから、秋の訪れを感じているようです。子どもたちが自ら取組んできた活動の中で自分なりに季節の変化に気付く姿から、感性が育っていることを感じます。『読書の秋』『スポーツの秋』『芸術の秋』など様々な秋があります。子どもたち一人一人の興味関心を大切に、充実した10月になるようにしたいと考えています。

子どもたちの豊かな生活にとって大切なもの

9月に入り、保護者と教師の会の活動が再開しました。書面開催の定期総会、入室人数を制限しての絵本の貸し出しなど、ウイズコロナでの活動を考え工夫してくだる保護者の皆様に頭が下がる思いです。園でできることは限られています。子どもたちの生活をより豊かにしていくためには、保護者の皆様のお力を借りながら進めていくことが必要となってきます。これからも、子どもたちの園生活がより豊かになるための応援団としてご理解ご協力よろしくお祈いします。10月から図書委員の方のご尽力で、絵本の貸し出しが再開します。子どもたちに豊かな心が育つように絵本の貸し出しをご活用ください。また、遠足は親子でウオークラリーになります。このアイデアも、幼稚園の応援団である関係者委員会からご意見としていただいたものです。お子さんと一緒に園の周辺地域がどのようになっているのか探索し、様々な発見をしてみてください。

頭がよくなる話

先日、歯科検診が行われました。その際、園医の伊東巖先生から興味深いお話を伺いました。子どもたちのあごの骨がダーウィンの進化論の速さ以上の速度で退化してきているそうです。これは、近年の食物の栄養補給を目的として咀嚼というものを軽視してきた影響で、さらに、噛むことの効用が得られなくなっているとのことです。では、噛むことの効用とはどのようなもののでしょうか？噛むことはなぜ大切なのでしょう？

伊東先生は次のようにおっしゃっていました。

○脳を刺激し脳の容量が大きくなる。つまり、頭がよくなる。

○脳の血の流れがよくなり、頭の働きがよくなる。

○歯や顎がしっかり成長し、顔のバランスがよくなる。(この部分は歯科衛生士の方がおっしゃっていました。)

スルメやコブなどが良いということでしたが、食べる量が少ないのではないのでしょうか。まずは、よく噛んで食べることで、硬いものも食事の中に取り入れることを心掛けてみてください。よく噛んで食べることで、食物の本当の美味しさも分かると思います。



さくら組10月のおだわらっ子の約束
どんな命でも大切にします

ほし組10月のおだわらっ子の約束
もったいないことをしません



うみ組10月のおだわらっ子の約束
人の話をきちんと聞きます